



京葉銀行のコミュニケーションシンボル

「A」の交点の立体的な重なりと上方へ鋭く伸びてゆくラインは、
人と人との交わりと、そこを出発点に無限に伸びてゆく未来をあらわしています。

コミュニケーションネームの「アルファバンク」は、
“人との交わりを大切に、無限の未来を切り開いてゆきたい”
“常に皆様にプラスアルファを提供し続ける銀行になりたい”
そんな京葉銀行の思いをあらわしています。

ごあいさつ



いつも「アルファバンク」京葉銀行をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

本年も、私どもに対する皆様のご理解を一層深めていただけるようディスクロージャー誌「2007京葉銀行レポート」を作成いたしました。当行の経営方針や業務内容、地域社会とのふれあい、新しいサービス・商品などをできるだけ分かりやすくご説明させていただくことを心がけました。ご参考にしていただければ幸いに存じます。

平成18年度の経済金融情勢を振り返りますと、好調な企業業績を受け、設備投資は増加基調を保ち、雇用・所得環境の改善が個人消費の増加へと繋がる好循環が見られました。景気回復が鮮明になってきた中、7月には日本銀行がゼロ金利政策の解除に踏みきり、その後も追加利上げを行うなど「金利のある世界」に戻りました。

このような環境の中、当行では第13次中期経営計画「 α ACTION PLAN 2009」を策定し、4つの経営課題を掲げました。

- ① お客様、株主からの厚い信頼の獲得、地域社会への貢献と従業員満足度の向上
- ② 地域の活性化に向けた取組み
- ③ 経営管理体制の強化
- ④ 収益力の強化

第13次中期経営計画では、次なるテクノロジーの進歩に合わせて大胆に改革を推し進め、お客様の利便性と安全性の更なる向上を図ってゆくとともに、働きがいのある、活力あふれる銀行づくりを目指してまいります。

これからも皆様からの厚い信頼を未来へと繋げていくために、地域社会にお役に立てる銀行として、役職員一同、より一層の努力を重ねてまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

取締役頭取 綿貫 弘一